

仲間を激励する労働組合を取り戻そう

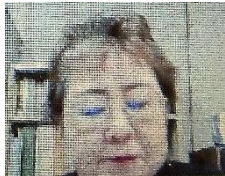
金融労連近畿地協第16回定期大会

10月23日、近畿地協第16回定期大会がオンラインで開催され、役員・代議員・オブザーバー23人（委任状含む）が参加しました。

今回は、近畿地協として初のオンライン大会（昨年は書面決議大会）となり、各参加者は自宅や所属する組合の事務所などから参加しました。京都北都従組の事務所からは5人が集まっての参加、大阪事務所にも事務局員が待機する形での開催となりました。



467兆円の資産を増億総活躍時実質賃金は少した。不



10年前の2.5倍に増え、さらにコロナ禍で日本のセーフティネットの脆弱さをさらけ出すことになった。生活困窮者が増大しているのは政治の責任である。コロナ禍で仲間一人ひとりの心が閉ざされないよう、労働日数が職場でも、みんなの心をつなぎ結ぶため頑張っていたきたい」とあいさつしました。

来賓として、金融労連本部・中島委員長、京都総評・梶川議長から、次のような要旨の挨拶をいただきました。

金融労連本部・中島委員長は「新型コロナ禍は、国内で様々な弊害を生み、政治問題化しているにもかかわらず、いろいろな面で、政府は考え方を変えようとしてこなかった。中小企業にとっては『過剰債務』問題としてコロナ後に避けて通れない大きな課題となっている。今後、金融庁が中小企業支援を『金融機関の個別経営判断』として、実質上、倒産・廃業に追い込むことがないように労働組合として注視していく必要がある。大企業の有価証券報告書を見ると、売上高の5倍以上の純利益を出しているところもある。受取配当金や関係会社の株式売却益で利益



大会議長に京都北都従組の後守代議員を選出した後、主催者を代表して岡野議長は「アベノミクスの9年間、大企業の内部留保は

のぼり、富裕層大させたが、『1代』とは裏腹に、年間22万円も減安定雇用者数も

を出し内部留保としてどんどん積み上がっている。過剰な内部留保が国民全体に何のプラスにもならない体質を作ってしまった。政治の転換はもとより、金融機関の労働組合として、メスを入れて声を上げていくことが求められているのではないかと思う」

京都総評・梶川議長は「コロナ禍で命も暮らしも生業も危機的な状況になっていることを体験してきた。地域から寄せられる悲鳴や怒りの深刻さと強さを本当に実感している。最低賃金ギリギリで働かされる労働者、減らされ続ける年金、孤独死など政治全体の歪みが家族みんなを襲う実態をイヤというほど見てきた。これに対して、政府は五輪やGOTOなど、あらゆる方向に金をどんどん投入した。岸田首相の『成長なくして分配なし』というのは、成長がないから分配もないよというふうに聞こえるが、これはアベノミクスと同じだ。これを言うなら、ぼろ儲けの大企業の内部留保を、国民の暮らしと命の現場に再配分してこそ政治ではないかと思う。京都総評は今度の総選挙で野党共闘による政権交代の実現を呼びかけている。労働者・労働組合の要求実現のためにもどうしてもこの政権交代が必要になっている。『最低賃金が払えない企業は淘汰すればいい』という政府ではなく、『助成や減税など国の責任で最低賃金を保障できる環境をつくる』という共通政策を掲げる野党政権を実現させよう」

阿部事務局長が「たたかひの総括とすすめ方」、松島事務局次長が「決算・予算」、社会計監事が「会計監査報告」の提案を行った後、討論を行いました。

討論では、「志を同じくする京都北都従組を少しでもサポートできればという思いで、OBが中心となって金融ユニオンの京都北都信金分会を昨年結成してから1名増えて10名となった。臨給への人事考課導入問題など従組が抱えている課題を合同会議で話し合ってきたが、コロナ禍でこれまで利用していた公共施設の利用ができなくなったりして、

を出し内部留保としてどんどん積み上がっている。過剰な内部留保が国民全体に何のプラスにもならない体質を作ってしまった。政治の転換はもとより、金融機関の労働組合として、メスを入れて声を上げていくことが求められているのではないかと思う」

京都総評・梶川議長は「コロナ禍で命も暮らしも生業も危機的な状況になっていることを体験してきた。地域から寄せられる悲鳴や怒りの深刻さと強さを本当に実感している。最低賃金ギリギリで働かされる労働者、減らされ続ける年金、孤独死など政治全体の歪みが家族みんなを襲う実態をイヤというほど見てきた。これに対して、政府は五輪やGOTOなど、あらゆる方向に金をどんどん投入した。岸田首相の『成長なくして分配なし』というのは、成長がないから分配もないよというふうに聞こえるが、これはアベノミクスと同じだ。これを言うなら、ぼろ儲けの大企業の内部留保を、国民の暮らしと命の現場に再配分してこそ政治ではないかと思う。京都総評は今度の総選挙で野党共闘による政権交代の実現を呼びかけている。労働者・労働組合の要求実現のためにもどうしてもこの政権交代が必要になっている。『最低賃金が払えない企業は淘汰すればいい』という政府ではなく、『助成や減税など国の責任で最低賃金を保障できる環境をつくる』という共通政策を掲げる野党政権を実現させよう」



阿部事務局長が「たたかひの総括とすすめ方」、松島事務局次長が「決算・予算」、社会計監事が「会計監査報告」の提案を行った後、討論を行いました。討論では、「志を同じくする京都北都従組を少しでもサポートできればという思いで、OBが中心となって金融ユニオンの京都北都信金分会を昨年結成してから1名増えて10名となった。臨給への人事考課導入問題など従組が抱えている課題を合同会議で話し合ってきたが、コロナ禍でこれまで利用していた公共施設の利用ができなくなったりして、

阿部事務局長が「たたかひの総括とすすめ方」、松島事務局次長が「決算・予算」、社会計監事が「会計監査報告」の提案を行った後、討論を行いました。討論では、「志を同じくする京都北都従組を少しでもサポートできればという思いで、OBが中心となって金融ユニオンの京都北都信金分会を昨年結成してから1名増えて10名となった。臨給への人事考課導入問題など従組が抱えている課題を合同会議で話し合ってきたが、コロナ禍でこれまで利用していた公共施設の利用ができなくなったりして、

思うように進んでいない面もあるが、結成1年経過を機に定期大会を開催して泊り込みで話し合う機会をつくる予定。今後、信金役員と地域金融機関としてのあるべき姿、役割発揮などについて懇談をしたいと考えている。老体に鞭打って頑張る決意だ」
(金融ユニオン京都北都信金分会)

「三井住友銀行の2人の派遣労働者のたたかいは契約満了解雇について、銀行の一方的な都合で簡単に派遣労働者の首を切るやり方に強い怒りを持ちながらも、次の就職先を早急に見つけなければならない事情もあって、裁判ではなく、派遣元のSMB Cヒューマンキャリアに求職活動中の一定の賃金補償で解決。あおぞら銀行の内部告発者に対する報



復的懲戒処分撤回の取り組みは、現在、東京都労働委員会で審理が続いているが、本人は『ひとりでは絶対にできなかったことを労働組合を通じてやれていること』を実感して組合活動に参加している。このたたかいは、労働組合でひとりでも頑張ることの大切さを私たちに教えてくれていると思う」
(金融ユニオン大阪分会)

「コロナ禍で毎年の恒例だったバスハイクやバーベキュー大会などを中止せざるを得なくなったが、OBを始め多くの皆さんの応援もあって、現在までに新入職員の内8名の新組合員を迎えることができた。コロナ禍での組合活動をどう進めたらよいか、みんなの声を聞きながら考えていこうと思う。良いアイデアがあったら教えてください」
(京都北都従組)



「今まで何度かパワハラ問題を組合として取り組み、経営者とも交渉して、機関紙にも掲載したりして進めてきた。少なくとも組合幹部のいる職場でのパワハラは影を潜めてきている。しかし水面下でパワハラが発生しているとの噂はよく耳にする。交渉するには、パワハラが行われている事実に関する情報収集(いわゆる裏取り)が必要となるが、時間を要するので、被害者が既に退職したりして悔しい思いもある。組合ニュースに掲載することについては

賛否両論があるが、これまでの経験の蓄積を生かして取り組んでいきたい」

(京都北都従組)

「毎月の事務連絡で、中途退職者の多い職場をリストアップし、背景や原因を分析してはどうか」

(金融ユニオン京都北都信金分会)

「ズーム大会を色々見ていると、しゃべり慣れたOBなどの発言はあるが、リアル大会に比べると明らかに発言が少ない。ズーム会議の活用で組合活動が楽になっていることは確かだが、参加者は増えておらず、議論も薄っぺらくなっている気がする。コロナ前は、議論が白熱して会議が終わっても、場所を移した交流会など

で、議論の続きがとことんやられていたが、ズーム会議は終了と同時に画面から退出したら、空虚な孤独感に襲われることがある。ズームとリアルを併用して、参加者増と突っ込んだ議論に取り組んでほしい」

(金融ユニオン直属分会)

その他、枚方信金の仲間が10月に新しく金融ユニオンに加入されたことの報告が行われました。会計監査報告を含めたすべての議案(第1号議案「総括・運動方針」「当面のとりくみ」、2号議案「2021年度決算」、第3号議案「2022年度予算」)が出席代議員全員一致で採択されました。

ズーム大会のため、既に開票が行われた役員選挙結果が白波瀬選挙管理委員長から行われ、立候補者全員が満票で信任され、各組織から推薦のあった幹事の承認も行われました。

大会で選出された新役員は次のとおりです。

近畿地協新役員(敬称略)		
議長	岡野 展子	池田泉州従組
副議長	後藤 光明	京都北都従組
事務局長	阿部 正巳	京都北都従組
事務局次長	坪倉 大輔	京都北都従組
事務局次長	松島 照男	金融ユニオン大阪分会
会計監事	小中 幸子	金融ユニオン直属分会
会計監事	辻 昇三	金融ユニオン直属分会

大会で承認された幹事は次のとおりです。

新幹事(敬称略)		
常任幹事	吉良 元宏	京都北都従組
常任幹事	糸井 孝志	京都北都従組
常任幹事	山崎 幸雄	金融ユニオン滋賀分会
常任幹事	松原久仁彦	金融ユニオン直属分会
幹事	澤井 正	滋賀従組